

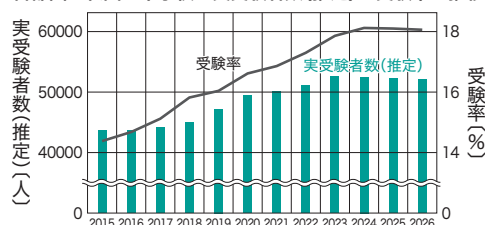
中学受験の新常識!?

広がる選択肢 わが子にあった
受験とは



中学受験が「特別ではない」時代になった

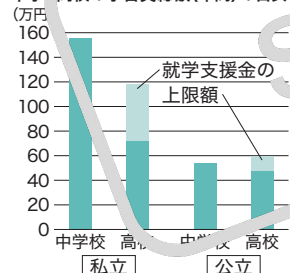
首都圏の私立中学校の実受験者数(推定)と受験率の推移



ONETES株式会社(旧・首都圏模試センター)「首都圏中学入試」資料より作成

ONETES株式会社(旧・首都圏模試センター)の推定では、2026年の首都圏私立中学校の実受験者数はこれまでの高水準が続く5万2050人、受験率18.06%となり、4年連続5万2000人超です。関西圏も統一入試日初日午前の実受験者数は1万7854人、受験率10.0%で過去10年で最高。愛知県でも最終志願者数の合計は2023年度の1万4663人から2026年度1万5709人へ増加※2。集計方法は地域で異なるものの、受験が身近な選択になっていることは確かです。

中学 高校の学習費総額(年間)の目安



「子供の学習費調査令和5年度実施分訂正版」「高等学校等就学支援金(新制度)リーフレット」(いずれも文部科学省)をもとに作成。統計の年度と支援金新制度の年度が異なるため、金額は目安です。

が、中学受験が身近な選択肢となった背景の一つです。

午前の実受験者数は1万7854人、受験率10.0%で過去10年で最高。愛知県でも最終志願者数の合計は2023年度の1万4663人から2026年度1万5709人へ増加※2。集計方法は地域で異なるものの、受験が身近な選択になっていることは確かです。

首都圏は高水準、関西圏は過去10年で最高。東海圏でも志願者増です。

中学受験をする子は、本当に増えているの？

中学・高校6年間を通しての教育費の負担が軽くなるからです。

高校の授業料が無償になると、どうして中学受験が増えるの？

でも、「中学受験のための猛勉強」って、大変じゃない？

中学受験に向かう姿勢も、多様化しているんです。



※1 『私立中高進学通信 関西版』Vol.94より

※2 愛知県私学協会ホームページより